土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　一級河川　太田川水系　東山本川　通常砂防事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

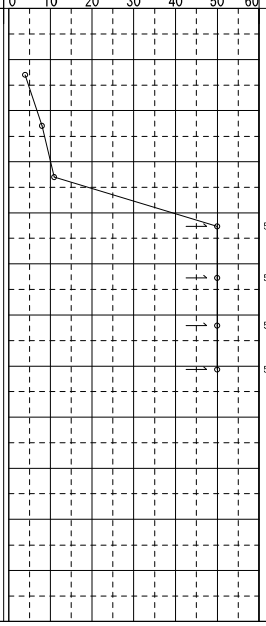
調査目的及び調査対象　砂防　ダム・溜池

ボーリング名	Bor.No.3	調査位置	広島県広島市安佐南区山本町	北緯	34° 27′ 05.8997″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年12月28日～ 令和4年 1月 4日	東経	132° 26′ 32.2903″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 192.34m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	7.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機 D-OB型 / エンジン：ヤンマーTM90M / ポンプ：東邦地下工機 BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1				粘土混じり砂		褐	rd2		上部に草根が混入する。 砂分は細砂を主体とする。 全体に粘土分を含む。 礫の混入は少ない。GL-2.5m付近にφ50mmの亜角礫を混入する。	(TP)
2										
3	189.04	3.30								
4	188.34	4.00		強風化花崗岩		褐			岩組織を明瞭に残すもの岩芯まで風化進行し、コアは指圧で容易に潰れ砂状となる。 DL級岩盤に区分出来る。	
5				風化花崗岩		褐			岩芯まで風化進行し、コアは指圧で容易に砕け砂状となる。 亀裂面は不明瞭。 DH級岩盤に区分出来る。	(GL)
6										
7	185.34	7.00								
8										
9										
10										
11										
12										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
4	1.15	1 / 70	2 / 130	1	4 / 300		
	1.45						
8	2.15	2	2	4	8 / 300		
	2.45						
11	3.15	2	4	5	11 / 300		
	3.45						
50以上	4.15	17	23	10 / 30	50 / 230	230	
	4.38						
50以上	5.15	17	20	13 / 50	50 / 250	250	
	5.40						
50以上	6.10	21	24	5 / 20	50 / 220	220	
	6.32						
50以上	7.00	38	12 / 30		50 / 130	130	
	7.13						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				12/28
				1/4